

U06-P22

会場:3 階ポスター会場

時間:4 月 28 日 18:15-19:30

## ほうおう座流星群の出現予報 Prediction of Phoeinid in 2014

首藤 宙伸<sup>1</sup>; 佐藤 勲<sup>2\*</sup>  
SHUTO, Hironobu<sup>1</sup>; SATO, Isao<sup>2\*</sup>

<sup>1</sup> 日本大学, <sup>2</sup> 日本天文学会

<sup>1</sup>Nihon Univ., <sup>2</sup>Astronomical Society of Japan

1956 年に大出現したほうおう座流星群は、ブランパン彗星 (289P/Blanpain) を母天体とする流星群で、2014 年に出現する可能性がある。ブランパン彗星は、1819 年に彗星として発見されて以来、長く見失われており、1819 年にバーストを起こした可能性が考えられる。このため、1956 年の大出現は、1819 年のダストトレールの接近によるものである可能性が考えられ、今年の大出現の可能性についても、この観点から検討が進められている。また、ブランパン彗星の平均公転周期は 5.27 年で、木星と 9:4 の共鳴関係にあり、95 年周期がある。従って次回は、2051 年に大出現することが予想されている。

キーワード: 流星  
Keywords: Meteors